

学校評価 外部評価委員会報告

2月26日(火)平成24年度学校評価外部評価委員会が開催されました。学校側から、運営状況や教育活動、アンケート考察結果を発表し、外部評価委員から意見や要望を含め評価コメントをいただきました。

*学識者 代表

1. 教育の目標は人格の形成にあり、学業、部活動はもちろん、これからはボランティア活動にも力を入れていくとよい。そういう意味でも、北上中でのボランティアは感心である。就職試験などでも、志望動機に部活動やボランティア活動を記載させる傾向にあるので、今後取り組んだ方がよい。
2. 家庭学習の定着については、どこの学校でも悩んでいるところであり、ADHDやLDとまでいかななくても、手のかかる子どもは増えている。不登校で学習習慣が身についていない子どもも多いので、継続して指導をしてほしい。
3. 部活動も熱心におこなわれているようだが、スポーツは勝つためだけでなく、生涯学習として楽しむためという考えもある。高い意識で生徒を引っ張っていくという理解をもって、具体的な明成流の戦略を検討するとよい。
4. 入口／出口という観点からすれば生き残るには知識理解だけでなく人間性を育てて社会へ出していく必要がある。進路と他の分掌と一体化させる方策を。

*企業 代表

1. 膨大な資料と説明に熱意を感じた。家庭との協力、連携もできていると感じた。
2. 企業代表として、基本をどう指導するか、お金の使い方を例に話したい。うまく貯める人は、お金を使わない、つまり、出るお金を抑えている。いい食材で、いい料理を提供するのは当然のことで、安心な材料でいい料理を作れるのが、いい調理師であり、いい経営者になれると思う。
3. お金は、人を勇気づけることもあるが、ダメにすることもある。進学が決まったが諸費用が払えないと相談に来る保護者がいる。子どもの将来を親がバックアップできるように応援したい・・・と親の立場として思うが、融資を断ることもあり、保護者に対して学費などの事前指導が必要なのではと感じる。

*地区中学校 代表

1. 地域や高校に支えられながら子供たちは生活している。
2. グランドデザインを見て「実学ひとすじ」について、中学校でもしっかりと進路指導をして、心の教育につなげたい。建学の精神を理解し、来年度は健スポに進学する生徒がいる。経済的に苦しく心配だが、本人は意欲的なので頑張ってもらいたい。
3. 近隣の小中学校は、学力向上モデル校になっている。中高連携事業でも、一緒に勉強させてもらったので、今後も続けていけるようお願いしたい。

* 地区小学校 代表

1. とても丁寧な説明でよかった。併設の児童館でマイスクールの委員会で活動報告があり、明成高校が話題になった。リエゾンキッチンの皆さんには幾度となく足を運んでもらい、みんな笑顔になるということだった。卒業を前にして、6年生と昼食をとっているが、転んだときに明成高校の生徒に助けられたという話を聞いた。見えないところで世話になっているし、また子どもたちは高校生とつながっているのだと感じた。今後もお願いしたい。
2. 学力の伸び悩みは、小→中、中→高で橋渡しが必要であり、同じ地域にある学校として、積み上げできるように努力したい。

* 学区連合町内会 代表

1. 地域として明成高校の活躍には鼻高々である。町内では65才以上が30%であり老人会が活発であるが、「あやめ会」への弁当提供や、お年寄りに席を譲るなどの親切な対応に助けられている。
2. 時代の先端をいく明成高校の教育は、県下1、2を争う学校として成長してくれると期待している。

* 松操会 代表

1. 生徒や学校へお褒めの言葉を聞くことができ嬉しく思う。行事で学校を訪ねると挨拶もできているし、和やかな雰囲気があり、今後も支援していきたい。
2. 三重県の「孫の店」で、技術が身につけていても、言葉遣いや心構え、お客様への接し方などができていないので、初めはダメだっという話を聞いた。資格をとっても経験者から教わる姿勢、人間教育、地域との関わりなども大切だと指導してほしい。
3. 卒業生として、各地で活躍している話を聞いているが、松操会が高齢化しているので、ぜひ若い人にも入ってほしい。

* 父母教師会 代表

1. 学校評価をここまでしているとは知らなかった。もっと発信するとよい。
2. 新入生・保護者にも知らせることで、理解が深まり、ギャップが縮まると思う。

* 福祉関係 代表

1. 介護の人材育成は大変なことだが、よく努力していると思う。介護の人材不足は深刻な問題であり、求人が3倍にもなっているが、大学は定員割れの状況である。介護を学びたい人には就学資金貸付制度があるので、活用してほしい。
2. これまでの3K（きつい・きたない・きけん）からトリプルA（あったか・あかるい・ありがとう）へ、介護のイメージを変えていきたい。DVDや事例集で仕事の内容を紹介しているので、見てほしい。
3. 明成高校の卒業生は、誠実で、よく頑張ってくれている。介護の仕事は、単なる介助ではなく、生活をコーディネートすることもある。今後も即戦力として活躍できるように、学校での学びに期待する。